

第70号

相模原市青少年指導委員 連絡協議会

発行編集 広報部 発行責任者 齊藤一城

相模原市は市制 70 周年はげいとうも創刊 70 号



特集: 各地区の子どもまつり

育てよう豊かな心・伸ばそう若い力

相模原市青少年指導委員は地域社会における青少年活動を推進することを目的に活動しており、日頃、地域で活動している市内 27 地区での青少年事業、および市の主催事業への参画・協力を行っております。

特に、市内各地区で行われる子どもまついは、それぞれの地区ごどに工夫を凝らし、子どもたちと一緒に参加する私たちも楽しめる相模原市ならではの取り組みだと思います。そこで本号では、各地区の子どもまついの様子を紹介しますので、どうぞお楽しみください。



会長 齊藤 一城



■はげいとう の名称について

1968 年青少年指導員制度が制定され、同年 9 月、『青年の家』で宿泊研修が行われました。 青年の家の庭に咲いていた『ケイトウ』の花が夕映えに輝き美しかったことや、ゲーム研修での『土びん、茶びん、 はげ茶びん』が楽しかったことを忘れずにとの思いから、広報誌を作成するにあたり、『はげいとう』と名付けられました。



相模原市では市内の各公民館が、市から委託を受け館区ごとに子どもまつりを開催しています。

子どもまつりは実行委員会を組織して準備を進めていきますが、青少年指導委員は実行委員会に参画 し子どもたちと一緒にお祭りを盛り上げていきます。

そこで、本号では各地区の子どもまつりの様子を、青少年指導委員の活動とともに紹介させていただきます。それぞれ特色があることが読み取れると思います。



相原地区 ★「第4回わんぱくまつり」に向けて

相原地区では、10 月にわんぱくまつりを開催すべく、14 名の実行委員で延べ6回の役員会を予定し、取り組んでいる最中です。

わんぱくまつりでは、公民館を会場として、体験、遊び、親子フリーマーケット、模擬店、昔の遊びの5つのコーナーと、ビンゴ大会を計画しています。各コーナーは実行委員が担当し、健全育成協議会や青少年部のメンバーに協力していただき運営していきます。現在は、各コーナーの内容を検討し、準備を進めているところです。

各コーナーには毎年多くの子どもたちが訪れ、楽しそうな声や笑顔で満ち溢れています。

今年もそのような子どもたちの姿が見たく、また昨年度よりも充実したまつりになるように、実行委員会では皆で知恵を出し合っています。





ふわふわスポンジボール

橋本地区 ★~夏休みの素敵な思い出になりました~

令和6年8月24日(土) 橋本公民館にて橋本地区3つの小学校1年 生~6 年生まで 105 名の子どもたちが集まり、夏の子ども事業「縁日(おまつ り)体験」を行いました。

子どもたちにより楽しんでもらうため「こんな縁日どうでしょう?」と題して、次の 6 つのコーナーを設けました。

- 1 フルーツ飴作り 2 かき氷作り 3 ヨーヨーつり、スーパーボールすくい
- 4 射的 5 かたぬき 6 おめん作り です。



ヨーヨー釣り



ナゾの指名手配書(誰?)

スタンプカードを持ちながらコーナーを原則 1 回ずつ回 り、6 個のスタンプを押してもらったら……ここからが更にお 楽しみ! 壁に貼ってある似顔絵の青少年部の大人を 見つけて声をかけると「プレミアムチケット」がもらえ、このチ ケットを使って、もう一度好きなコーナーで体験出来ると いう楽しさ満載のイベントでした。

子どもたちの夢中になって遊ぶ姿に大人も楽しませてい ただきました。



キーンと冷えたかき氷も人気

小山地区 ★活気にあふれたメルヘンランド

小山公民館の子どもまつりは、11 月又は 12 月に行われています。メルヘンラン ドと題した「こどものためのこどものおまつり」は、小学3~6年生のメルヘンランド実 行委員を中心に、補助役の青少年部と青少年部サポーターの中学生で企画、 準備が行われます。

お化け屋敷などのアトラクション、工作、ゲームの3つのコーナーに分かれて会議 や制作を4~5回にわたり進めていきます。会議では意見がどんどん出て、みんなの活



メルヘンランド開会式

気ある姿が頼もしいかぎりでした。本番を向かえたメルヘンランドでは、たくさんの子どもたちで賑わっていました。今年 は、10 月開催にしてハロウィンをテーマにメルヘンランドが行われます。 今までも一部のコーナーでは「海賊」などのテ ーマを設けることもありましたが、全体的にテーマが同じというのは初の試みです。子どもたちのアイデアで盛り上がるこ と間違いないですね、とても楽しみです。



賑わいを見せるお化け屋敷



プリンカップを使って楽器を作る



トイレットペーパーの芯だけで作ったモルック

大沢地区 ★「出会い、ふれあい、学びあいの場」

昨年、令和 5 年度のこどもまつりは、子ども実行委員を迎えての開催が数年ぶりになりました。

子ども実行委員の経験がない子だけでの実施は少し心配でもあったのですが、みんな積極的に意見を出し合い進めていました。

大沢小、九沢小、作の口小、大島小、4 つの小学校から実行委員は集まってくるので、まず自己紹介。こどもまつりが終わる頃にはとっても仲良くなった様子でした。

大沢の特長としては、ゲームコーナー、こどもレストラン、バスボム工場、模擬店の他にミニパトカー、白バイの展示、体験、自転車シミュレーター体験、鼓笛隊の楽器展示、体験といろいろな催

しがあるところです。



こどもまつりのポスタ ーコンクールも開催



ミウルも来館して くれたよ



清新地区 ★帰ってきたぞ、子どもデー!!!

2023 年度の子どもデーは『こどもたちによる、こどもたちのためのおまつり!』と題してコロナ 禍以前と同様に開催しました。

子どもまつりのコーナーは飲食系が5つ(フライドポテト・からあげ・やきそば・チョコバナナ・ジュース)、体験系5つ(射的・たからくじ・ストラックアウト(無料)・なぞときゲーム・ビー玉転がし(無料))で構成され、販売はすべて『清新ドル(金券)』で行います。

コーナーは都度新たに決めるので、毎年違った内容の子どもまつりを楽しむことができます。 年々、小学生の参加が減少していて担い手不足が悩みの種です。

特に飲食コーナーの調理はほぼ大人の実行委員が担当するので、調理実習室は在庫切れとの戦いになります。今回は例年に比べて中学生の運営委員への参加が多く、コーナー数

を減らすことなく運営することができ ました。

また、当日に手伝いに来てくれた 学生が、後日 JLC(ジュニア・リー ダーズ・クラブ)に加入してくれたり など、嬉しいこともありました。



心を込めて開店準備中



的が沢山あって迷っちゃう



New.清新ドル



模擬店コーナーは大盛況!

中央地区 ★子どもまつりからフェアに

コロナ禍前の 2019 年までの「子どもまつり」では、子どもたちも実行委員となり「お化け屋敷」と「模擬店部門」、「開閉会式」も担いました。

外では太鼓や様々な店また遊具コーナー等があり、中では様々な団体が催しを実施、その中でも「お化け屋敷」は整理券の発行が必要なほどの大人気のコーナーでした。一日で 1800 人が集う公民館の一大行事でした。

2023 年からは、『中央地区っていいなぁフェア』という形で、公民館の「子どもまつり」と「公民館まつり」などの事業を集約し、1週間で実施するようになりました。「こども」「みんな」「地域」「福祉」「健康」の5つの「ひろば」という形で実施され、

1 週間の中の日曜日に「みんなで楽しむ 催し Day!」として、こども中心の様々な行事が行われています。











横山地区 ★子どもが主役のハロウィンまつり

横山地区では、公民館の子どもまつりを『横山子どもフェスティバル』と呼んでいます。毎年、横山小、作の口小、清新中から、子どもフェスティバル実行委員を募集し、子どもたち中心に計画し、大人も手伝って実施しています。 内容は、



- ① ゲーム(モルック、魚釣り、等)、
- ② 季節に合わせた工作(かぼちゃの帽子、ハロウィンパフェメモスタンド、キャンディネックレス、プラバン)
- ③ 模擬店(チョコバナナ、たこ焼き、焼きそば、スーパーボール、ヨーヨーすくい) と盛りだくさんで、当日はたくさんのお客さんでにぎわっています。



おいしそう?お菓子風メモスタンド



かぼちゃの帽子づくり



にぎわう模擬店

大野北地区 ★子どもまつりの主役はクルーを演じる子どもたち

大野北の子どもまつりは、実行委員に応募した子どもたち(クルーと呼んでい ます)が、「企画から準備・運営までのすべて」を行う行事です。

10 月から子どもまつり開催の 12 月までのおよそ 3 か月間、土曜または日曜 の午前に行う 5 回のミーティング(クルーミーティングと呼んでいます)を通して 企画、準備を行います。

クルーミーティングでは、青少年指導委員は青山学院大学の学生にも協力頂 き、クルーが企画した内容が時間的、場所的、作業量的に、あるいは費用的 に、出来るか否かをクルー自身に考えさせ、試作と工夫を繰り返して子どもまつ りに繋げています。

当日はいつも沢山の来場者で長蛇の列ができ、クルーのお昼の交替が大変です。 因みに 2023 年はフランクフルト、フライドポテト、おでん、飲み物、射的、スーパー ボールすくい、スライム作り、キャンディバック作り、館内放送担当などを行いました。

2024 年も、また 12 月 に開催です。どんな企画を 子どもたちが考えるのか楽 しみです。







どう、うまくできた?



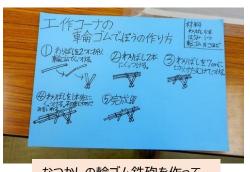
星が丘地区 ★子どもたちの知恵で、楽しいイベントを

星が丘地区のこども祭りは、子どもたち自身がおもてなしをする側に なって、公民館に遊びに来た子どもたちを楽しませる企画を考え、実行 するというものです。大人もお手伝いはしますが、具体的に何をするかは 子どもたちが決めます。

定番のお化け屋敷は、準備する子も参加する子も楽しみにしている 人気の企画でした。

ほかにも、昔懐かしい駄菓子屋や自分たちでコースを作るボウリング や輪投げ、工作コーナーなど、子どもたちの熱気があふれる楽しいお祭り です。

新型コロナの影響で、 しばらく開催ができません でしたが、徐々に日常生 活が元に戻りつつある現 在、新たな形での再スタ ートを計画しています。



なつかしの輪ゴム鉄砲を作って、 的当て



おばけやしきで死神に扮装 こわいかな?



手作りの輪投げコーナー

光が丘地区 ★子どもたちが、楽しんで繋がる素敵なおまつり

光が丘こどもまつりは、夏の終わりの実行委員募集で始まります。大人が主導するのはここまでです。 小中学生たちリーダー、日程、イベント決め、出演協力交渉、設営、当日の進行などを決めていきます。 大人は付かず、離れずのヘルプ対応でした。

昨年は、巨大迷路、縁日(魚つり、射的)、カフェ(ワッフル、クッキー)、マジックショー(トランプやコイン)、絵本の読み聞かせ、工作(クリスマスオーナメント、消しゴムはんこ)、スタンプラリー、ビンゴなど、てんこ盛りで笑顔と歓声で溢れました。こどもまつりの体験を通じて、毎回、楽しむ、つながる、支え合いの大切さを子どもたちに伝えています。 今年も12月1日に向けて、活動中。どんな出し物が登場するか期待が膨らんでいます。

















陽光台地区 ★地域と一体の子ども祭り

陽光台では、毎年秋に子ども祭りを開催しています。実行委員を 小学校高学年から募集して、子ども主体で祭りの名称決定に始ま り、各種催し物を決めていきます。昨年は、「陽光台キッズフェス〜ス マイルを添えて〜」というイベント名称で、スタンプラリー、ペットボトル ボーリング、ペン立て作成、プラバンペンダント作成、ステンドグラス作 成を体験工作として実施し、チョコバナナ、ポップコーン等の販売も行いました。



子どもたちによる開会式

中学生の協力で電気の実験

中字生の協力で電気の美験 しびれない?

また、緑が丘中学校科学部が、理科実験教室として、子どもたちに面白い実験を一緒に体験させてくれていました。

これら以外にも、体育部や、子ども食堂パプリカのメンバーも、惜しみなく協力をして頂いています。当日は、たくさんの参加をいただきました。尚、今年の子ども祭りは、10月27日(日)に行います。

例年この時期に開催していますので、機会があれば、ぜひお立ち寄りください。













上溝地区 ★上溝地区 夏休みの子ども工作教室

上溝地区では子供祭りの代わりに夏休みに上溝南こどもセンターと新宿小の児童クラブで工作教室を行いました。 作成した物はフーフーイモムシ、ブンブンゴマ、ストロートンボです。

材料は牛乳パックの空容器や、ストロー、毛糸、折り紙など手軽に手に入る材料を揃えて、簡単に作成できるよう工夫しました。

自分で作れる工作のおもちゃで、楽しい夏休みの1ページとして皆さんの心に残ってくれたら嬉しく思います。



フーフーイモムシで、みんなで競争 しているところです



ブンブンゴマ、うまくまわせる かな?



皆さん、夢中でストロートンボ を作成していました

田名地区 ★地域の名物、お化けやしき

2024年8月3日は田名公民館が一大テーマパークに様変わり。

田名こどもまつりと言えば何と言ってもハイクオリティーのお化けやしきです。地域の田名小、田名北小に募集をかけ、集まった実行委員の皆さんが知恵と工夫とセンスを結集させ、怖いだけでなく演技、演出の完成度の高さに感動を覚えるほどです。 すっかり地域の名物になっています。

今回も 320 名(のべ)のお客さんで行列が絶えませんでした。むかしあそびの体験やわりばし鉄砲、ブンブンごま作りなどもあり、盛りだくさんの内容でした。

ラグビー三菱ダイナボアーズのダイボくんも盛り上げてくれました。



むかしあそびコーナー



ブンブンごま



わりばし鉄砲





ダイボくんも遊びに来たよ!

新磯地区 ★子どもまつり ~たくさんの子どもが笑顔になり、まつりは大成功~

新磯公民館では、今年 2024 年度は、子どもまつりを 12 月 15 日(日)に開催予定です。 このたびのはげいとうでは、昨年 2023 年度の取り組みをご紹介します。

子どもまつりは、公民館 2 階を会場にして、事前申し込み、参加費千円、午前部と午後部の入れ替え制でおこないました。お客様として、多くの小学生(午前の部:139 名、午後の部:71 名)に楽しんでもらいました。

当日は、子ども実行委員 22 人が、青少年部、ボランティアの協力のもと、チョコバナナ、フランクフルト、わたあめ、ポップコーン、水あめ、ポテト&ナゲット、さかな&おかしつり、ボウリング&わなげ、工作のお店を出しました。

また、相陽中学校科学部による実験教室も開催してもらいました。

前日準備の夜に、イルミネーションの点灯式を、サンタクロースの赤い帽子をかぶった子ども実行委員でおこないました。子どもまつり終了後のふりかえりの会では、頑張ってくれた子ども実行委員に、館長から感

謝状が贈られました。



館長と実行委員



ふりかえりの会



相陽中学校科学部の実験教室



イルミ点灯式

麻溝地区 ★こどもまつり元年

麻溝地区は今まで、こどもまつりの実施はありませんでした。

令和7年2月9日に開催します。実行するのは、リトルジュニアリーダー研修の研修生が主体です。

開催に向けて、8月17日~18日に公民館のキャップ研修で、まつりプロデュースをし、コンセプト【思い出に残るおまつり】を決めました。ブースについては、輪投げ・スーパーボール・チョコバナナ・ストラックアウト・くじびき・金魚すくい・ダーツ・ステージでダンス、漫才などの意見がありました。現在、まつりに向けて実行委員会募集のチラシを配布し、実行委員を募集しています。



※下の写真は、コロナ禍前の麻っ子フェスタのオープニングと モグラたたきの様子を掲載しています。



相武台地区 ★時代にあったこどもまつりへ

相武台地区は、例年 12 月初めの日曜日、こどもまつりを開催しています。

コロナ禍以前は、地域の小学校(高学年)・中学校から集まった子どもたちが中心となり企画から運営(予算書作成、買い出し、調理、販売)を行っていました。

数多くの模擬店(焼きそば、豚汁、パフェ、クレープ、チュロスなど)、お化け屋敷、輪投げ、ダーツ、新聞プールやステージなど、朝 10 時から 14 時の間で多いときは約800 人の来場者で会場は盛りあがりをみせていました。

子どもたちが対応しきれない部分などは地域の方々(公民館専門部員、地域協力員)がサポート役として参加し、また、数年前より隣接する看護学校の生徒さんたちにも参加協力を頂けることになり、地域との関係性が豊かになってきています。

新型コロナウィルスにより思いどおりの活動ができなかった年度もあり、私たちは模索をしながら課題に向き合ってきました。そして、コロナ禍を経た現在、子どもたちを取り巻く環境はこれまで以上に変わり、事業全般少しずつではありますが進化しています(^^)/

昨年度は中高生のみの募集でしたが、今年度はコロナ禍以前と同様に募集し、開催しようと計画しています。企画から運営まで全てが元どおりになることは難しいかと思いますが、いろいろな課題に向き合いながらも子どもたちを支援していけたらと思っています。

今年度は 12 月 8 日 (日) 10 時~12 時(会場:相武台公民館)開催予定です。







相模台地区 ★今年は12月8日(日)開催

『第 28 回相模台子どもまつり』(令和 5 年 12 月) は前年の感染症対策下とは違い、 4 年ぶりに本格的規模で、「おばけ屋敷」「模擬店〈カフェ〉」「ゲーム〈魚釣り・輪投げ・ストラックアウト〉」「ステージ発表」のフルメニューで開催しました。

企画・運営は地区内の小学4年生~中学3年生を対象に募集した子どもたち19名。 9月からスタートしたスタッフ会議でアイデアを出しあい、準備・制作の末、12月の開催にこぎ つけるという数ヶ月に渡る育成イベントです。

また、子どもスタッフのサポートには青少年指導委員を中心に、各学校 PTA から担当委員と保護者ボランティア、公民館スタッフなど、多数の大人の支援や協力もあっての成功です。

コロナ禍を経て、色々な模索をしながらの進行でした。新しいカタチの子どもまつりとして、最初の一歩になったと思います。これからも健全で安全な子どもまつりであるために、試行錯誤を積み重ねていきます。令和6年度も12月開催に向けて9月から子どもスタッフ会議をスタートさせるべく、準備を進めています。このイベントを通して、子どもたちがリーダーシップや責任感を育み、チームワークで課題を乗り越える経験を学んで欲しいと期待しています。







子どもたちが投げやすいよう工夫 してホースで輪を作った輪投げ



デアがたくさん出ましたそうな夢のある新鮮なアイ子どもスタッフ会議。楽し



青少指恒例の魚釣りは、子どもたちのアイデアで水中のイメージに

コロナ禍後、食品の取り扱いが 厳しくなったためメニュー決めに は苦労しました

大野台地区 ★行ってみよう、やってみよう

大野台地区の子どもまつりは、毎年 11 月後半の日曜日に開催します。実行委員は地区の 2 つの小学校から公募した 3~6 年生を中心に公民館関係者等のサポーターで構成されます。実行委員会は 9 月から 4 回に渡って行われ、子どもたちと一緒に模擬店、工作、催しものの企画、準備や宣伝用のポスターの作成を行います。当日は、子どもたちが主体で、販売等を行います。

当地区の子どもまつりは、子どもたちが自分たちの手で作っていく子 ども主体のイベントです。本年度は、11月17日(日)に開催しま すのでどうぞお立ち寄りください。













大沼地区 ★今年は、11月24日(日)開催! お化け屋敷再開はあるのか?

大沼子どもまつりは、今年で33回目を迎え、11月24日(日)に実施予定です。

新型コロナの影響で実施できなかった、令和2年度は、子どもまつりを絶やさないように、これまでの振り返りをかわら

版として配布し、令和 3 年度は子どもたちの気持ちを知るためにアンケートを実施しました。そのアンケートを受けて、令和 4 年度には人数制限、規模縮小し、密を避けながら 3 年ぶりの開催を実現して子どもまつりを繋いできました。そして、昨年は舞台発表、模擬店を再開して、かつての賑わいを取り戻し始めています。

今年も子ども運営スタッフを募集して、リーダー、サブリーダー、書記を決め、子ども達自 身で毎回議事を進行します。

また、各コーナーでは、大人も交えながら自分達の想いを乗せて完成させていきます。どのような意見やアイデアが出てくるのか、どのようなスローガンになるのか、各コーナーはどの

ような特色を見せるのか、5年 ぶりの「お化け屋敷」再開はあるのか、今年も生き生きとした子どもスタッフの姿や、活気溢れる子どもまつりが見られるのが楽しみです。









大野中地区 ★昨年度より本格的に再開!

昨年は11月12日(日)に大野中公民館で子どもまつりが開催されました。

コロナが 5 類に移行する前の年から子どもまつりは小規模で再開されたのですが、感染を避けるため小学校のグラウンドで行い、食べ物もありませんでした。そこからやっと従来の子どもまつりを再開することができるようになり、久々の通常実施であったこともあり、お客さんが大勢押しかけ大盛況となりました。

このため子どもスタッフも大忙しでした。子こどもまつりはコロナの影響で実施できない期間もあって、大人は戸惑うことが多く、また子どもスタッフも初めはとまどいながらの準備もありました。

当日は、「さがみん」も来てくれて、公民館は笑いと大混雑の一日となりました。

今年も更にパワーアップして開催するべく、鋭意準備中です。



食べ物のお店を集めてフードコート風にしてみました



ゲームコーナー「スーパーボールすくい」



「さがみん」も来てくれたよ

上鶴間地区 ★子どもたちの主体性を重視!

上鶴間地区では、子どもたちの学びと主体性を重視した子どもまつりを意識して実施しています。

夏休み前に小学校高学年を中心に実行委員の募集を始め、10月のおまつり本番までに5回程度の実行委員会でやりたいことをまとめ、試作を行うなどして、予算立てから収支決算までを子どもたちにお任せしています。

我々、青少年指導委員は意見などを出しすぎないように サポートに徹することを心掛けています。





昨年はコロナ禍以降、久しぶりに一般 開放した子どもまつりを実施し、たくさんの お客さんに参加いただき、大盛況でした。

ただ、コロナ禍で通常の子どもまつりが 実施できない期間が3年以上あり、子ど もまつり自体を知らない高学年が多く、コロナ禍前とは違ったアプローチで今後の子 どもまつりを盛り上げて行く必要を感じ、 今年はそこを意識して活動しています。

大野南地区 ★大学生と楽しむ子どもまつり

今年の子どもまつりは、東海大学の学生さんたちに準備を手伝ってもらい、盛大に開催することが出来ました。 東海大学の古里准教授研究室の学生 14 名が、6 月~8 月の毎土曜日午前中、猛暑が続く中、大野南公 民館に集まり、子どもまつりのスタッフとなった館区内の小学生 15 名を指導してくれました。

東海大学の学生さんたちは、子どもまつりの準備はもとより、各部屋の清掃、チラシ、シフト等々の作成も全てやってくれました。もちろん、青少年指導委員も参加しています。

小学生は大学生に負けじと時間前に集合し、一緒になって準備をしていました。

今年の子どもまつりの出し物は、お化け屋敷、ストラックアウト、宝探し、千本引き、工作(くるくるレインボー・レジンでストラップ作り)、○×クイズの7つが出揃いました。

当日は、午前 11 時開催でしたが、開催前からわくわくしながら集まる子どもやその親御さん

でいっぱい。開場すると大勢のお客さんで賑わい、とても楽しい子どもまつりでした。 東海大学の学生さん、多岐にわたりご協力いただき、ありがとうございました。









東林地区 ★こども祭りへの取り組み

長い自粛期間が収束に向かい、子どもたちと楽しく触れ合う機会が戻って来ました。

東林地区の「こども祭り」は、夏場の熱中症に考慮し、年明け一月に 東林公民館五十周年記念行事として開催を準備しています。

コロナで活動自粛していた間に、様々な感染症や食中毒の報道が 続いたことから、衛生面に敏感になっている子どもたちや、関係者に安 心して参加して頂ける内容を模索していますが、このブランクは事業を



手伝って貰っていた子どもたちとの関係が途切れてしまったり、企画運営に携わっていた中学生や大人実行委員・ 青少年指導委員も詳細な部分の引き継ぎが出来ないままに世代交代が進んでしまいました。

今は以前の資料や写真を確認したり薄れた記憶を出し合ったりしながら、新生「こども祭り」の成功を目指して、全員で楽しく準備を進めています。







津久井地区 ★公民館で遊んじゃおう!

津久井中央公民館の青少年事業において、これまで「子どもまつり」と称するような事業は展開されていませんでし たが、令和4年度より「公民館で遊んじゃおう」という事業が取り組まれるようになりました。

この事業は、子どもたちに夏休みの一日を公民館で様々な体験をしてもらい、楽しく過ごす機会を提供するもので、 本年度のこの事業(夏休み子ども向け事業)に津久井地区協議会は「ボッチャ体験」、「ラダーボール体験」、「魚 つり体験」(事業企画部より借用)で参加させていただきました。その他、子ども食堂、サークル体験、短編映画の 上映などのコーナーも会場に設けられ、子どもたちは笑顔いっぱいで喜んでいました。





缶バッジづくり



ラダーボール体験

おもちゃの病院を開院

左:魚釣り体験

中央:上映した短編映画

公民館で遊んじゃおう!のチラシと看板

右:ボッチャ体験







城山地区 ★城山地区青少年ぶれあい事業 ~おいでよ!! あそびのひろば!~

城山地区では、子ども実行委員を募っての「子どもまつり」は開催しておりませんが、夏の子ども向け事業として、令 和 6 年 7 月 14 日(日)に「おいでよ!!あそびのひろば!」を今年度初めて実施しました。事業の内容は、縁日 的要素を取り入れ、射的・輪投げ・ストラックアウトなどのゲームコーナー、工作コーナーのほか、ヨーヨー釣り・わたが し・ポップコーンの販売。また、地域のお囃子にも出演いただきました。

初めての事業であったため、企画段階から多くの時間をかけ準備を進めたのですが、「子どもたちはたくさん来てくれ るか?」「楽しんでもらえるか?」不安な気持ちでいっぱいでしたが、当日の会場は、参加した子どもたちの笑顔であ ふれ、大変な賑わいでした!

次年度は、子ども実行委員を募り、子どものための事業として拡充できればと思います。



ひろば開催のポスター





ヨーヨー釣り

大勢の子 どもたちが 参加してく れました

ゆかたで風流に!





相模湖地区 ★年に2回の子どもまつり

相模湖公民館では、『子ども夏まつり』と『子ども秋まつり』の年2回 のお祭りを行っています。

『子ども夏まつり』では、夏休み中の数日、公民館青少年委員会 が学習や遊びのプログラムを計画し、青少指が運営を手伝います。 遊びの『ミニミニ夏まつり』では、中学牛のスタッフを募集し、当日の模 擬店の運営を手伝ってもらいます。

これが、『子ども秋まつり』の実行委員へつながっていきます。

魚釣り

『子ども秋まつり』では、小中学生より募集した子ども実行委員が 『自分たちがやりたいおまつり』を企画・運営します。大人実行委員

(公民館青少年委員会・青少指ほか) がアドバイス的立場で共に







子ども秋まつりの開会式であいさつ をする子ども実行委員



秋まつりの企画を練る実行委員

藤野地区 ★自然・子ども大国 ふじの

藤野地区では子どもまつりは実施していませんが、子どもが楽しめるイベントがたくさん あります。自然のフィールドと素材をいかした活動を行うことで、「藤野そだち」を誇りに 思う人になってほしいと願っています



市全体の事業

相模原市の青少年指導委員は、これまでに紹介した各地区の事業のほか、全地区が集まって行う市全体での事業にも携わります。ここでは、その事業を簡単にご紹介します。

① 市民桜まつり

「市民桜まつり」そのものは、市の実行組織が実施しますが、青少年指導委員は、その中の1コーナー「チビッ子広場」 (昭和49年から継続)を担当し、創作コーナー、魚釣り、バンブーダンスを行います。

魚釣りとバンブーダンスは定番ですが、創作コーナーは毎年内容を変えています。

参加者は、比較的小さなお子さんが多く、大変にぎわっているので、簡単にできて楽しめるものを工夫しています。 魚 釣りは紙の魚をマグネットで釣り上げ、数を競ってもらうのですが、 行列ができるほどです。

バンブーダンスは、昔懐かしい「ゴム飛び」に似ていますが、開いたり閉じたりする2本の竹の間に足を挟まれないように、タイミングよくステップを踏むものです。大人でもなかなか難しいですが、小学生も高学年になると、さすが、すぐにマスターしてしまいます。



魚釣りは小さな子に大人気!



バンブーダンス やさしく指導します!



創作は、例年とても混み合います

② 親子ふれあいの広場

毎年 11 月に、広い公園を会場に開催される市主催の親子向けイベントです。市内の青少年関係団体(青少年指導委員、少年鼓笛連盟、ボーイスカウト、市子ども会連合会、少年少女合唱団)が一堂に集まって開催されます。青少年指導委員は、市民桜まつり同様に、魚釣り、バンブーダンス、創作の3コーナーを出展します。

今年度は10月5日に開催されました。



③ ミニレクリエーション会



集団競技

青少年指導委員が一堂に集まって、子どもたち向けの各種レクリエーションを実際に体験し、地域での活動の参考にしてもらうとともに、お互いの親睦を深めるイベントです。

体を使うもの、頭を使うものなど、知恵を 絞った企画を皆で楽しみながら学んでいま す。むしろ、自分たちが楽しんでいる?

今年度は9月28日に開催されました。



個人競技

さがみはら

相模原のあれこれ ~歴史、名所、グルメ~

今年、市制 70 周年を迎える相模原市。でも、それ以上の歴史と市民でも思わず「ヘぇー」と言ってしまう、意外なスポットなど、みどころが沢山!

今回は、そんな中から私たち青少年指導委員が選ん だ、おすすめを紹介します。



~ ●オリンピアンが生まれた公園~

中央区小山にある小山公園は、地元の人々に親しまれている広大な緑地公園です。公園は主に3つのエリアに分かれています。東側は大型遊具がある芝生広場、中央のサッカー・野球・ソフトボール等ができるスポーツ広場、西側には今年の夏、大きな話題となったスケートボードやバスケットボールの3×3が楽しめるニュースポーツ広場があります。

今年のパリ五輪で、スケートボード女子ストリートで金メダルを獲得した吉沢恋選手、同じく男子ストリートで4位に入賞した白井空良選手は、小さい頃からこの



公園のニュースポーツ広場内にあるスケートボードエリアで練習をしていたそうです。ほかにもストリートダンスが楽しめるスペースもあり、スポーツやレクリエーション、自然散策など、様々な楽しみ方ができる多目的公園として、多くの人に利用され



ています。ショッピングセンターのアリオ橋本からも近く、公園内には無料駐車場があり車でのアクセスも便利です。



∼②世界一正確な日時計~

中央区鹿沼台1丁目 他

相模原市内のあちこちに、大きな日時計が設置されています。これは、相模原市民で市民文化章を受章した小原 載之助さん(1898~1983)が作製し、寄贈されたものです。

小原さんは、50 歳を過ぎてから、独学で日時計の製作を学び、小原式精密日時計を発明しました。誤差がわずか4秒という正確さから、ギネスブックでも世界一正確な日時計に認定され、世界中に400基以上が設置されています。



国内でも、国立科学博物館をはじめ、全国に設置されていますが、相模原市内には、公園、駅前、小学校の校庭、河川敷など様々な場所に置かれています。お嬢さんは、いまも相模原市在住で、日時計作家として活躍されています。



小原式日時計は、地球儀が付けられているのが特徴の一つ(淵野辺駅前)

~❸はやぶさのまち さがみはら~

中央区由野台3丁目

相模原市中央区由野台にある相模原 JAXA(宇宙航空研究開発機構)が開発した小惑星探査機「はやぶさ」は、7年かけて小惑星イトカワのサンプルを、後継機の「はやぶさ2」も小惑星リュウグウのサンプルを無事地球に持ち帰りました。相模原 JAXA は、地球から両機のオペレーションを行いました。

国内の5市2町(北海道大樹町、秋田県能代市、宮城県大船渡市、角田市、相模原市、長野県佐久市、鹿児島県肝付町)にある JAXA の施設の縁で作られた友好都市を銀河連邦といい、相模原市は、サガミハラ共和国と呼ばれており、2013年には、「しょこたん」こと、中川翔子さんが銀河連邦大統領補佐官になったこともあります。

さらに JAXA 最寄り駅の淵野辺駅の発車ベルの音楽は、銀河鉄道 999 の主題歌で、駅には銀河鉄道 999 のパネルも展示されています!

JAXA キャンパスは、年に1回の特別公開で、講演、ロケット、探査機模型の展示、各研究プロジェクトの紹介などを行っています。毎年大勢の人が来場し、通常の見学では見ることができない施設の見学やスタッフとの交流を通じて、JAXA の活動に親しんでいます。





はやぶさ2の機体 ※JAXAHPより

~4でいらぼっち伝説~

全国各地にある大男の伝説。相模原市には、"でいらばっち" という雲をつく大男の伝説が伝わっています。昔、でいらぼっちが、富士山を背負って西から東へと旅をしていたとき、途中、富士山の重さに疲れ、雨降山(大山)に腰を下ろし、相模川の水をすくって飲んで休憩したという伝説です。

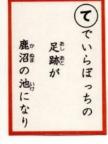
水を飲んで、元気を取り戻した大男は、立ち上がり再び富士山を背負おうとしたものの、富士山に根が生えてしまい、両足を大地に踏ん張り、引き抜こうとしてもびくともしません。

中央区鹿沼台2丁目



大男の足跡といわれている鹿沼公園の池





伝説のかるたもあります

大男は地団駄を踏んで悔しがり、立ち去ったとされ、その時の足跡は相模原市の「鹿沼」「しょうぶ沼」「大沼」「小沼」として残ったといわれています。

今では、それらの沼は埋め立てられ、 「鹿沼公園」と「淵野辺しょうぶ公園、弁 天神社」として市民に親しまれています。



伝説の掲示がある弁天神社

∼5上矢部の土塁~

中央区上矢部5丁目

JR横浜線矢部駅の北側にある、相模原市立青少年学習センターの近くに「上矢部の土塁」と呼ばれる史跡があり ます。十塁とは、十を盛り上げて造った防御施設のことで、城や館の外周に設けられるものです。

写真は、横山党矢部氏居館跡の土塁とされ、かつて武蔵七党のひとつである横山党の流れをくむ矢部義兼が鎌倉 時代頃に、この地に拠点を置いたのが始まりとされています。ただ、1213年に起きた「和田合戦」にて敗死し、その後の ことはよく分かっていないとの事です。

現在では、道路拡幅の影響でご覧の様なかたちで残っており、案内板も設置されています。この地域の現在の地名は、 矢部氏にちなむものといわれています。



「上矢部の土塁」案内板



現在の土塁跡



道路整備前の土塁跡

~ 6津久井湖城山公園と津久井の由来~

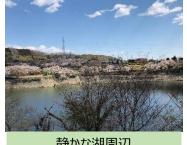
緑区太井、緑区根小屋

緑区にある県立公園の津久井湖城山公園は、主に「水の苑地」「花の苑地」「根小 屋地区」の3つのエリアに分かれています。

噴水や滝をメインにした「水の苑地」では、家族連れが多く芝生広場でピクニックを楽し んだり、夏場は子どもたちが水遊びをする姿が見られます。その向かい側に「花の苑地」が あり、新鮮な地元の野菜や名産物などの買い物ができる観光センターが併設しており、そ の周辺は一年を通して四季折々の花を楽しむことができます。そして「根小屋地区」で は、大型遊具が設置されており、自然を満喫しながら遊ぶことができます。また城山の動 植物や歴史を知ることができるパークセンターも併設しており、大人も子どもも楽しむことが できるエリアとなっています。どのエリアも季節ごとのイベントがあり、家族連れやカップル、友 人同士で訪れるのにぴったりの場所です。

もちろん、城山登山も楽しめます。山頂には「津久井城趾」があり、城跡から津久井湖 や周辺の山々の美しい景色を眺めたり、歴史散策や森林浴を楽しむことができます。

この「津久井」という名前の由来にはいくつかの諸説があります。



静かな湖周辺



歴史に触れることもできます



夜はイルミネーションも

- ・地形説(津久井湖周辺地域では、昔から川が多く「津」が
- 多い地域でした。日本語で「津」は「船着き場」を意味し、「久井」は「長い川」や「長く続く水 路」を示すことが多く、これが「津久井」という地名の由来とされています。)
- ・人物説(古代の豪族「津久井氏」に由来するといわれ、この一族がこの地域に住み着き、 彼らの名前が地名として残ったとされています。)
- ・神社説(「津久井神社」という神社がこの地域に古くから存在し、その神社が地名になったと いう説もあります。)

これらの説が混在しながら「津久井」という地名が形成されてきたと考えられています。具体

的な由来を一つに絞りこむのは難しいですが、自然と触れ合い、歴史を感じながら散策を楽しんでみてはいかがでしょうか。

~7たまご街道~

南区麻溝台

「たまご街道」とは、南区麻溝台にある鶏舎や卵の直売所が点在する市道です。

戦後何も無かった土地に、畜産農家が集まり養鶏場を開いたのが始まりだったそうです。最盛期には40以上の養鶏農家が軒を連ねていたそうです。しかし、時代の流れとともに周りには住宅が増え、「臭いが気になる」という声が多数寄せられる様になり、それにより近隣住民との摩擦も起こりはじめ、転出する養鶏農家が相次いだそうです。

残された養鶏農家は周辺地域との共存を模索し、2013(平成 25)年に地元に残った養鶏農家全 7 軒で「麻溝畜産会」を結成し、鶏舎や直売所が点在する市道を「たまご街道」と名付け、周辺地域ヘサービスの提供することが『麻溝畜産会』の目的となりました。

「たまご街道」には卵の直売所だけでなく、卵を使った洋菓子やカフェを提供する店舗もあります。テレビで紹介されたこともあり、遠路はるばる県外から訪ねてくる方もいて、連日、行列が出来る程の人気スポットになっています。



沿道には様々な店舗が並ぶ



◆おわりに

今回、相模原市で神奈川県青少年指導員大会が開催されることを受けて、他の地域の青少年指導員の皆さんに相模原市の事業や相模原のまちを知っていただきたいと思い、この号を企画しました。

お読みいただいたみなさまに、楽しんでいただければ、そして参考にしていただければ幸いです。

■はげいとう 第 70 号 編集スタッフ・編集後記(広報北グループ)		
編集長	齊藤 一城(大野中)	相模原地域の青少年指導委員の活動と相模原の魅力を感じていただけると思います。
副部長	榎本 好二(星が丘)	今回は、スペシャル版です。お楽しみください。
書記	歌川 俊子 (清新)	相模っ子も知らない相模原の名所あれこれ…訪ねてみるのも有りですね。
部 員	渡辺 智美 (橋本)	皆さんのお力をたっぷり頂きながら広報路といいでいます。
	赤坂 悦子(小山)	今後の参考になる子どもまつりのあれこれ、読み応えがありました。
	鈴木 悦子 (大沢)	子どもたちの地域活動の体験が未来に繋がりますように。
	君島 智子 (横山)	初心者マークを外せるように勉強させていただきました。
	夏目 利江(中央)	お疲れ様でした(^^)/
	原田 俊治 (大野北)	子どもたちに対する青少年指導委員の熱い気持ちをお届けします。
	稲冨 義彦 (大野北)	いろんなスタイルの子どもまつりを見て、参加して、楽しんで下さい。お待ちしています!
	江成 侑一 (田名)	これからも田名地区の人気イベントをご紹介していきたいと思います!
	吉田 知美(上溝)	子どもたちに工作やイベントの楽しさを、これからもお伝えできればと思います。
	久保田 浩敏 (津久井)	相模原の名所を幾つか担当しました。今号は盛り沢山の内容になってます。是非、端から端まで見て下さい!
	砂金 富保(相模湖)	年 2 回の子どもまつり、今後も地域の方々との交流を図っていきたい。
	青木 貴文 (城山)	知っているようで案外知らない他地区の活動。すごく参考になります!
	篠原 真 (藤野)	藤野の素晴らしさをアピールしました。
	吉成 朋子(相原)	是非読んでください(^^)

★相模原青少指のホームページが出来ました

「相模原市青少年指導委員」で 🗨 検索

https://www.sagami-portal.com/hp/dnt10148/



★相模原青少指では X もやっています。 「相模原市青少年」で **Q** 検索

URL: https://x.com/qHxdtN2PTG8Ue6t

★はげいとうは、相模原市のホームページから見ることができます。「相模原市 はげいとう」で (検索



